

橋本哉山 結しをこ 僧侶。嘉永六年十月十八日京都下京烏丸生れ、明治二十三年十月一日歿（八五三—一九〇〇）。諱曰頌。號曰辨軒。安政四年鎌倉玉院に入り義堂を師とす。文久元年得度。師歿後、美濃正徳寺の義龍を師事。義龍歿後、大龍寺白理清水に就き参究。明治二十四年京都南宗寺の請に應じ（接來）二年、鹿王院住職に復じ、兼て臨濟法橋寺を師とす。

著書に『急辨語録』（大正十二年八月十五日京都・南苑庶藏版）。その他、白種讓公論『鞍山禪師言行録』（再版・明治四十二年一月）二十五白寶文館（）、二十二年四月急辨語録出版『哉山創面集』（蘆口實堂編、昭和七年十月十五日京都・鹿王院）がある。

